

土岐川グリーンベルト通信 第54号

平成26年度「三ッ池の森」多治見中学校による活動報告

平成27年1月に、多治見中学校の1年生166名が、中学校南側にある「三ッ池の森」をフィールドとして、樹木の働きや樹木整備の意義を学ぶための学習、土砂災害に強い樹木を目指した樹木整備活動に取り組みました。

○第1回学習会「森の大切さ」平成27年1月22日

講義「ふるさとの森の大切さ、樹木の働きと樹木整備の意義」
～NPO法人鎮守の森より、長尾講師を招いて～

○第2回学習会「樹木整備の事前学習」平成27年1月26日

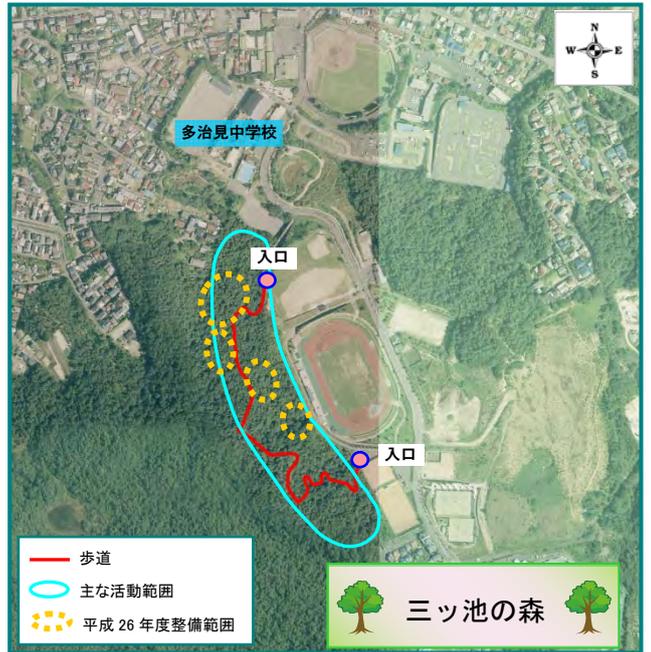
講義「樹木整備の方法（木の切り方・片付け方、切る木・残す木）、安全な樹木整備のためのルール」

実習「ヘルメットのかぶり方」

「ノコギリ・剪定バサミの使い方、木の切り方」

○樹木整備体験 平成27年1月29日

- ・常緑低木や成長の悪い木の伐採（間引き）
- ・ネザサの刈り取り



学習会の様子

1/22 第1回学習会「森の大切さ」-NPO法人鎮守の森より長尾講師を招いて-

講義



木の適正密度、根の生え方 体験学習

適度な密度で生えた木



木の根のはい方



1/26 第2回学習会「樹木整備の安全・技能学習」-安全で楽しく作業するために-

ヘルメットのかぶり方講習



ノコギリ・剪定バサミの使い方 屋内実習





1 / 29 樹林整備活動の様子

「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、15班にわかれて、樹林を明るくするための常緑低木の間引き、ネザサの刈り取りを行いました。

当日は、多治見中学校PTA、三ッ池の森整備の会、市之倉森づくり部会、多治見さぼう・みちボランティア、多治見市、多治見砂防国道事務所が協力し、生徒への伐採方法の指導などの支援を行いました。多くの方にご協力いただき、安全に作業を行うことができました。参加者は、中学生・支援者をあわせて、総勢 225 名でした。

集合の様子



KY(危険予知)活動

安全に作業するため、作業開始前に、注意点や対策を確認しました。



ネザサの刈り取り



木の伐採



伐採した木の処理(玉切)



生徒の感想



- 私はもともと自然が大好きで、もっとたくさんの自然が増えて、人間にも動物にもいい森が増えていけばいいなと思います。
- 下り坂は少し危なかったけど森の整備をして森が気持ちよくなってうれしかったのでまた機会があれば整備したいと思います。
- 初めて三ッ池の森に入ってみて、最初は近寄りにくいと思ったけど、中に入ると自然に囲まれていて、気持ち良かったです。のこぎりで木を切る作業では、少し難しかったけど、楽しかったです。あまり経験のできないことができて、勉強になりました。これからもきれいな森であり続けてほしいです。

「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>